

# 3月、英国にODM子会社

## マッコーニ D 蘇州サンプルラインも強化

縫製のマッコーニホールディングス(東京)は3月、英国にODM(相手先ブランドによる設計・生産)子会社を設立するほか、同月をめぐり自家工場の蘇州マッコーニのサンプルラインを増強するなど新たな投資に乗り出している。欧米口の中高級婦人服などを対象にしたグローバルな生産体制を強固なものにするのが狙い。同社は「12年はグループにとって重要な1年になる」(會藝文社長)としている。

ロンドンに設立するODM子会社マキシンは、マッコーニホールディングス70%、英国側30%の出資で、欧米アパレルメーカーの受注を拡大するのが目的。3月内に、同子会社の事務所を上海に設置、生産管理体制も整備する。ロンドンを拠点に英国内を中心に百貨店やファストファッション向けODM事業を行ってきた会社のスタッフを引き継いで設立した。グループの主力生産拠点の蘇州マッコーニでの生産のほか、ベトナムやスリランカなどでも委託生産する。またパターンナーも新たに採用し、企画提案力を強化する。

一方、蘇州マッコーニのサンプルラインは現在60人だが、3月をめぐり120人まで増やす。自社パターンナーによるサンプル生産を行ってきた欧州アパレルメーカーが外部委託し、特

に外注先を中国にシフトする動きに対応した。

欧米向けの中高級ブランドの生産で実績があり、信頼関係がある同社がサンプル生産の受け皿となり、「安心の品質」によ

るサンプルを供給する。

マッコーニホールディングスは、マッコーニインターナショナルや蘇州マッコーニ、米国マッコーニなどで構成するグループの本社機能を果たしている。欧米や日本の中高級ファッションブランドを対象に、自社工場受注生産するほか、ODMも受注している。昨年8月には中国広西チワン族自治区賀州に、合弁メーカーの億利達服装有限公司を設立。中国での自家生産機能も強化している。